

# \ 集客効果を早める /

## Webサイトを作成したら 最初にやるべきこと

ホームページが完成したら、最初にやるべき作業を知っていますか？  
集客に向けて、流入経路をしっかりと作る仕組みづくりをするかしないかで、  
ホームページのパフォーマンスに差が付きます。

## はじめに

## 検索エンジンに知らせよう！ インデックス登録をリクエスト

Googleサーチコンソールに登録する

🔖 コラム  
【Yahoo!もGoogleも検索エンジンのシステムは同じ】

Bingウェブマスターツールに登録する

🔖 コラム【検索エンジンに登録されないときは】

## アクセス経路を作って 多くの人に訪問してもらおう！

Googleビジネスプロフィールに登録する  
SNSでホームページ情報を発信する

企業ブログで告知する、リンクを貼る  
お客様や取引先にメールやLINEで案内を出す

メールの署名にホームページURLを掲載する  
地元の情報メディアで紹介してもらう

01 プレスリリースを出す  
名刺やパンフレットに掲載する 14

02 店頭や受付にホームページ情報を掲載する  
口頭で伝える 15

03 🔖 コラム【被リンクを増やす際の落とし穴に注意】 16

06 **分析ツールを登録・設置して  
改善していこう！** 17

09 Googleサーチコンソール  
Bingウェブマスターツールに登録する 18

10 Googleアナリティクスを登録・設定する  
🔖 コラム【UAとGA4、どちらを使えばいいの?】 19

11 **おわりに** 20

完成直後のホームページは、たくさんの可能性を秘めています。  
導き方次第で、活躍の度合いが大きく変わってきます。

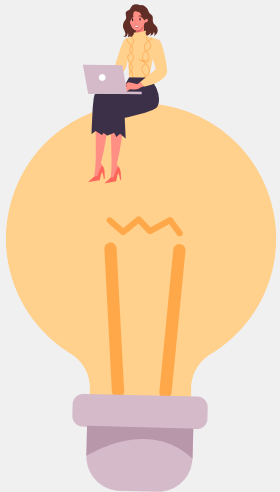
いくら素晴らしいホームページでも、アクセスがなければ意味がありません。  
ホームページに人が集まる仕組みを早い段階で作ることが、集客効果を高めることになります。

この資料では、ホームページを公開したら真っ先に取り組むべきことをまとめました。  
初期段階でやるべきことを網羅してあるので、順調な運営スタートを切ることができます。

**1 検索エンジンに知らせよう！インデックス登録をリクエスト**

**2 アクセス経路を作って多くの人に訪問してもらおう！**

**3 分析ツールを登録・設置して改善していこう！**



# 検索エンジンに知らせよう！ インデックス登録をリクエスト

いち早く行うべきなのが「検索結果に表示させるための道筋づくり」。

待っていれば、自然と検索エンジンはホームページを見つけて検索結果に登録してくれます。  
しかし、ただ悠長に待っているのは時間もったいないですね。

検索エンジンが提供している管理ツールで、登録をリクエストしましょう。

## **Googleサーチコンソール (Google Search Console) に登録する**

Googleサーチコンソールは、ホームページ運営者のために無料で提供されている管理ツールです。検索結果に載せるためのリクエストをしたり、分析をしたり、さまざまなことができます。ここで真っ先に行うのが「検索結果に載せるためのリクエスト」です。

- 1 アカウントを作成してホームページ所有者の登録をする。**
- 2 XMLサイトマップを作成して、Googleサーチコンソールに送信する。**
- 3 1~2週間ほど待って、検索エンジンに登録 (インデックス) されたか調べる。**
- 4 未登録なら「インデックス登録をリクエスト」する。**

# 検索エンジンに知らせよう！インデックス登録をリクエスト

Googleサーチコンソールのアカウント登録方法について、  
詳しくは 🔍 **CHACO-WEBの解説記事** を参考に作業を進めてください。

XMLサイトマップも作成ツールを利用して作成することができます。こちらも 🔍 **解説記事** をご参照ください。



## CHACO-WEBかんたんマニュアル【Googleサーチコンソールの登録方法】

<https://www.chaco-web.com/blog/how-to-register-for-google-search-console/>



## サイトマップXMLの作り方と送信方法のわかりやすい解説

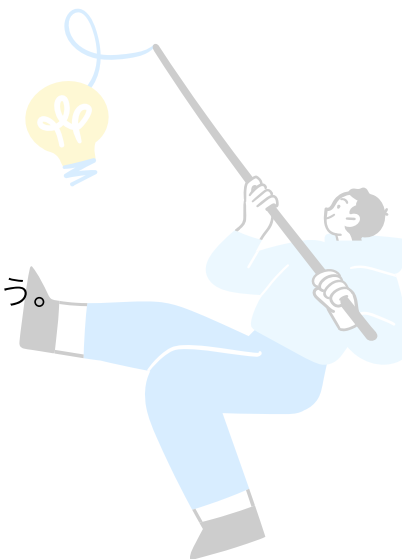
<https://www.chaco-web.com/blog/sitemapxml/>

自分で作業するのが難しいと感じる場合には、制作会社に相談しましょう。

## Googleサーチコンソールを利用するメリット

- 能動的に検索エンジン登録をリクエストできる。
- 登録されたか調べられる。
- ページの表示エラーを探知できる。
- どのような検索キーワードで表示・アクセスされたか「クエリ」を調べられる。
- Googleが推奨する改善案を見て改善策に活用できる。

ホームページ管理者に必要な機能が詰まっています。SEOを考えていなくても、登録はしておきましょう。



## Yahoo!もGoogleも検索エンジンのシステムは同じ

日本で使われている2大検索エンジンは「Google」と「Yahoo!」。

そしてYahoo! JAPANは、Googleの検索システムを利用しています。  
つまり、Googleに登録されればYahoo!にも登録されるということです。  
Googleの検索結果の影響は大きいということですね。

実際には、Yahoo!とGoogleの検索結果は異なるように見えます。  
Yahoo! JAPANが独自のアレンジを加えているからなのです。  
同じキーワードでも検索順位に違いが出ますので、両方で見比べてみましょう。





## Bingウェブマスターツールに登録する

マイクロソフトが提供する検索エンジン「Bing」にも結果表示されるよう、登録しておきましょう。

Bingはマイナーなイメージがあるかもしれませんが。

しかし、アクセスを確保するなら初期段階で登録すべきです。

## Googleサーチコンソールの登録情報をインポートできる

Bing登録の前に、先にGoogleサーチコンソールで登録を済ませてしまいましょう。

Bingウェブマスターツールは、Googleサーチコンソールに登録した情報をインポートできます。

これで何度も同じ作業をする手間がかかりません。

## Bingウェブマスターツールを利用するメリット

- ☑ 能動的にBing検索エンジン登録をリクエストできる。
- ☑ Bingに登録されたか調べられる。
- ☑ ページの表示エラーを探知できる。
- ☑ SEOに関するアドバイスを調べられる。
- ☑ ユーザーのページ上の動きを見られる「マイクロソフト クラリティ」が利用可。

Bingウェブマスターツールは、SEO機能が充実しているのが特徴です。

SEOレポートなど、Googleサーチコンソールとは違う細やかなアドバイスを調べられます。

また、注目すべきなのが「マイクロソフト クラリティ」です。

ページ上でユーザーが実際に動いた形跡を見る「レコーディング」、ページ上でよくタップされている

箇所を色で表示する「ヒートマップ」が利用できます。有料サービスレベルの分析ツールを無料で使える、すごい機能なのです。



## 検索エンジンに登録されないときは

いくら待っても、リクエストを送信しても検索エンジンに登録されない…。  
そのような時は、3つの可能性があります。

1. 何らかの技術的エラーが発生している。
2. 検索エンジン巡回を拒否する設定が残っている。
3. ペナルティ対象となっている。

具体的な原因の解説は 🔍 [こちらの記事](#) をご覧ください。



ホームページがGoogleに登録されたか確認するには？登録方法・対処法も紹介！

<https://www.chaco-web.com/blog/google-index/>





# アクセス経路を作って 多くの人に訪問してもらおう！

ホームページへのアクセス元は検索エンジンだけではありません。  
機会を逃すことなくホームページを利用してもらうために、アクセス経路を増やす作業をします。

アクセス経路を作って多くの人に訪問してもらおう！

## Googleビジネスプロフィールに登録する

Googleビジネスプロフィールとは、会社や店舗の情報を掲載できるサービスのことで、載せた情報はGoogleマップや検索結果に表示され、無料で利用できます。

ローカル営業をしている事業であれば、ぜひ登録しておきたいサービスの一つです。ホームページ情報を載せることができるので、忘れずに掲載しましょう。

## SNSでホームページ情報を発信する

自社でSNSを運用している場合は、ホームページ情報を載せましょう。SNSで自社アカウントや、スタッフアカウントからのアクセス経路を作ります。プロフィールにホームページURLを載せるのはもちろん、投稿でもホームページができたことをお知らせしましょう。

リンク先は、トップページだけでなく、投稿内容に沿った該当ページにする工夫もオススメです。

アクセス経路を作って多くの人に訪問してもらおう！

## 企業ブログで告知する、リンクを貼る

自社ブログを立ち上げている場合は、ホームページ公開のお知らせと、リンクを掲載しましょう。

ブログからホームページに簡単に移動できる仕組みを用意しておくのがポイントです。

ブログ記事を読んで興味を持った人が、ホームページを見て問い合わせできるようにするためです。

## お客様や取引先にメールやLINEで案内を出す

「ホームページを開設しました」

お客様や取引先に向けて、ホームページ公開のお知らせを出します。

既存客にはホームページなんて不要と思いませんか？

ホームページを見て、新しいサービスに気付いてもらえたり、イメージアップしたりするかもしれません。

アクセス経路を作って多くの人に訪問してもらおう！

## **メールの署名にホームページURLを掲載する**

忘れてはいけないのが「メールの署名」です。  
細かいことのように思えますが、意外と署名からアクセスする人がいるものです。  
記載しておけばアクセスの機会を逃しません。

## **地元の情報メディアで紹介してもらう**

ローカル情報を取り扱うメディアで紹介してもらうのも有効です。  
地域の人が見てくれるので、集客効果も期待できます。  
参加している協会の公式サイトで紹介枠があれば、ぜひこちらも利用しましょう。

アクセス経路を作って多くの人に訪問してもらおう！

## **プレスリリースを出す**

プレスリリースでホームページ開設のお知らせを発信します。

プレスリリースは見落としがちですが、信頼度の高い公式情報として扱われるのでオススメです。

## **名刺やパンフレットに掲載する**

名刺やパンフレットにホームページ情報を掲載するのは基本です。

QRコードを作成しておくことで、ストレスなくアクセスしてもらえます。



アクセス経路を作って多くの人に訪問してもらおう！

## 店頭や受付にホームページ情報

実店舗の営業にオススメの方法です。

待合室、受付カウンター、レジ横など、目が届くところにホームページ情報を貼っておく方法です。

こちらQRコードからさっと読み込んでアクセスできるようにしておきましょう。

## 口頭で伝える

対面、電話、Zoomでの打ち合わせの際に、取引先やお客様に口頭で伝えます。

「ホームページが完成したのでぜひご覧ください」

「後ほどメールでアドレスをご案内します」

「〇〇と検索してみてください」

さらっと伝えるだけでも構いません。

ちょっとした行動ですが、言うのと言わないのでは差が開いてきます。

## 被リンクを増やす際の落とし穴に注意

「ホームページへのリンク（被リンク）が増えると、アクセスも増える。  
だからできるだけ被リンクを増やすのが大事」  
これは間違っていない。被リンクは価値があるとSEOでも言われてきました。

しかし、ここで注意すべきなのが「被リンクの質」です。  
有料リンクを買ったり、信用の低いリンク集サイトに登録したりして  
被リンクを集める行為をしてはいけません。  
検索エンジンに「低質なサイト」としてペナルティを受けることもある危険な行為です。  
地道ですが、自然にリンクをしてもらえるよう行動するのが王道です。



# 分析ツールを 登録・設置して改善していこう！



ここからはホームページを運営していくための武器を用意します。  
分析ツールでホームページの状態を見ながら、改良を重ねていきましょう。

## **Googleサーチコンソール、 Bingウェブマスターツールに登録する**

上述の3ページ目・7ページ目で説明した管理ツールです。

ページの表示速度や、期待している検索キーワードでアクセスを集められているのか分析できます。

## **Googleアナリティクスを登録・設定する**

アクセス解析を設置して、ホームページを分析しましょう。

アクセス元の傾向、離脱率、直帰率、滞在時間など、改良のヒントを得ることができます。

無料で利用できるのも安心ですね。

## 従来版Googleアナリティクス (UA) は2023年7月1日で終了 GA4に切り替えよう

Googleより、従来版のGoogleユニバーサルアナリティクス (UA) がサポートを終了することが発表されました。

ユニバーサル アナリティクスのサポートは終了します

ホームページで使っているアナリティクスがUAのみの場合は、新しいGoogleアナリティクス4 (GA4) を設置しましょう。片方からデータを同期したり、インポートしたりできません。

2022年5月現在、Googleが提供するアナリティクスは2種類あります。

最新版のGoogleアナリティクス4 (GA4)

従来版のGoogleユニバーサルアナリティクス (UA)

UAがデータ収集に使っている技術「Cookie (クッキー)」は個人情報保護の動きにより制限されつつあります。GA4は、「Cookie (クッキー)」に頼らない技術での計測システムとして誕生しました。つまり、従来版UAと最新版GA4では、計測方法が大きく違います。GA4は収集したデータを機械学習するので、早めに入れて計測をスタートさせましょう。

## ホームページ初期は、**人力の誘導** が特にアクセスに影響します

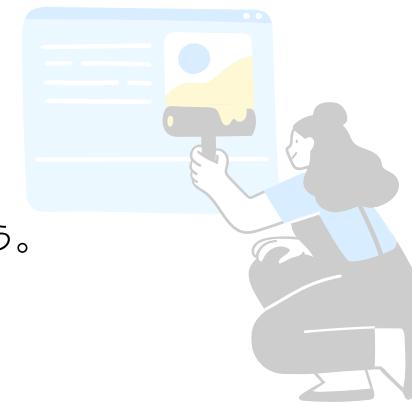
ご紹介してきた作業は、予想よりも地味なことばかりと感じるかもしれません。  
とはいえ、どの作業も重要なことばかりです。

公開直後のホームページは集客能力を備えていません。  
まずは人力で環境を整え、ホームページまで誘導することでやっと「人が訪れ」ます。

そして、稼働し始めたホームページを検証することも大切です。

想定していた検索キーワードで集客が来ているか  
力を入れて作成したコンテンツは十分に効果が出ているか

思うほど効果が出ていなければ改善して、また検証します。  
伸びしろをぐんぐん伸ばして、効果の高いホームページを運営していきましょう。



## CHACO-WEBが作る月額無料の ホームページ制作が向いている方

管理費に予算をかけたくない

自分で手軽に更新したい



### テンプレート利用型 オリジナルデザイン型

どちらも制作費用のみで作成しています。  
ランニングコストを抑えて、  
お客様が手軽に更新できるホームページは  
運営しやすさに定評があります。

[CHACO-WEBのサービスサイトを見る >](#)



お電話でのお問い合わせ 月曜-金曜9:00-17:00

**03-6808-1575**



メールでのお問い合わせ

[info@chaco-web.com](mailto:info@chaco-web.com)